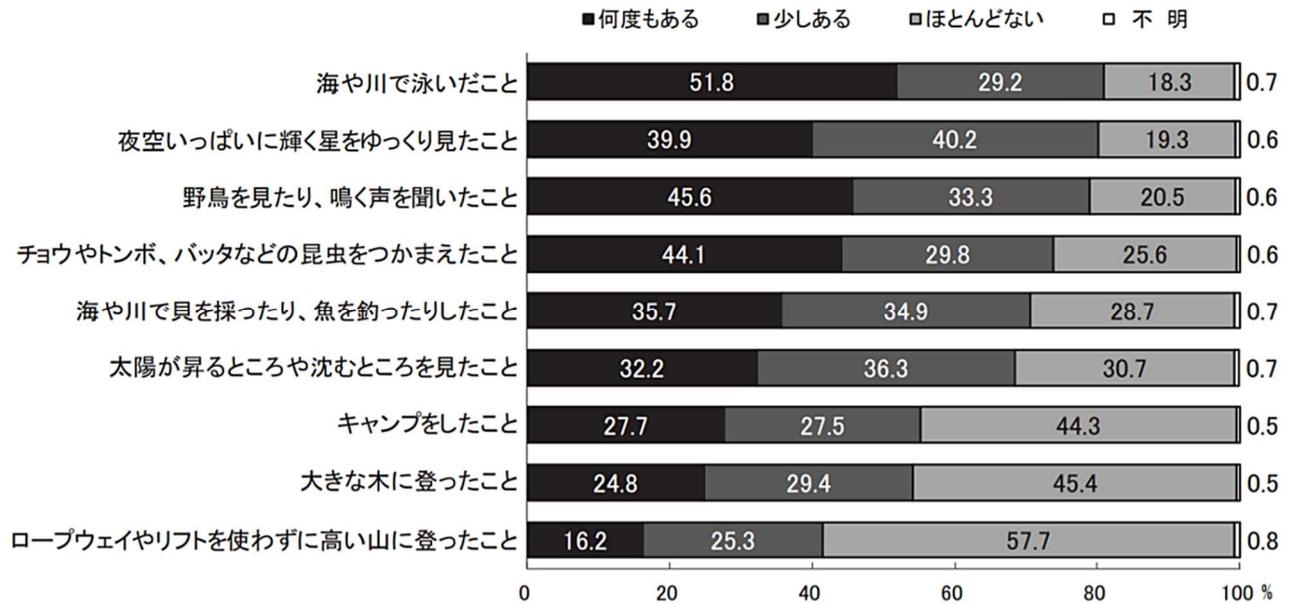


.....

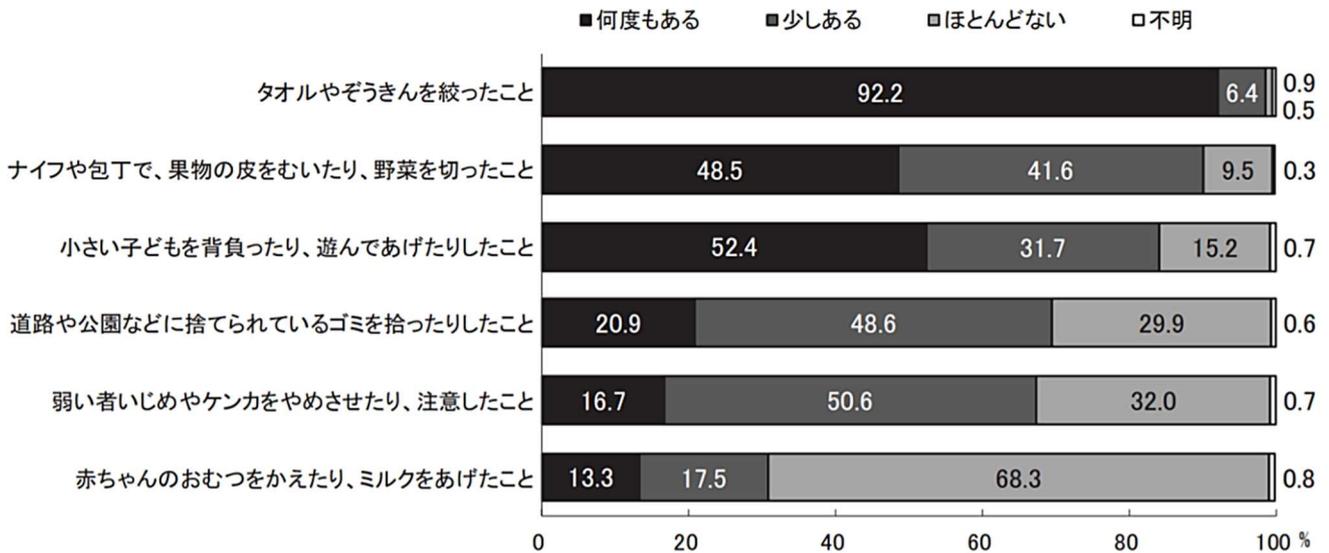
子供の「生きる力」を育むために、体験活動の重要性が指摘されている。国立青少年教育振興機構が行った「青少年の体験活動等に関する意識調査（令和元年度調査）」では、小学4年生、5年生、6年生、中学2年生、高校2年生のこれまでの自然体験、生活体験、生活習慣の実態や自立に関する意識等が明らかにされた。あわせて、小学1～6年生の保護者に対しても自然体験活動に関する意識や子供へのしつけ等が調査された。

問1. 図1～6からどのようなことが読み取れるか。読み取った内容について詳しく述べなさい。

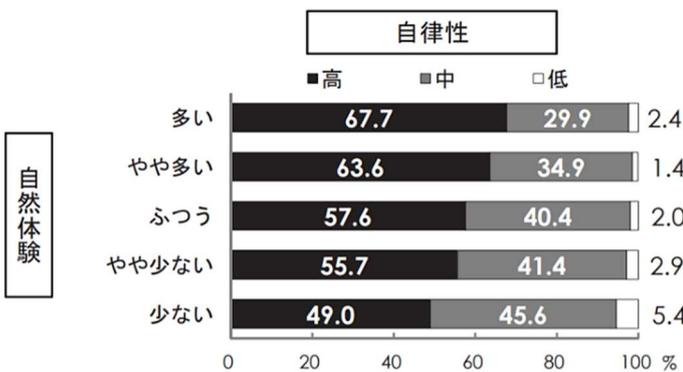
問2. 保護者への調査から、調査年の1年前（平成31年）の4月から調査時点までに、学校以外の団体（公的機関や民間団体等）が行う自然体験活動に関する行事への小学生の参加率は、50.0%であったことが示されている。この点と、図7、図8及び問1で読み取った内容をふまえて、小学生の体験活動に関わる問題点を指摘し、小学校において、今後どのような体験活動が必要であるかを考え、具体的に説明しなさい。



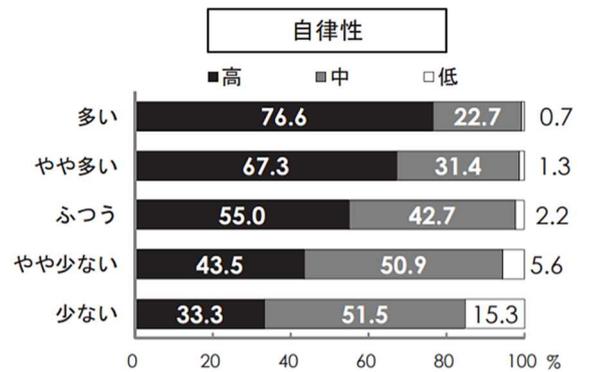
＜図 1＞ 自然体験の現状（小 4～小 6、中 2、高 2）



＜図 2＞ 生活体験の現状（小 4～小 6、中 2、高 2）

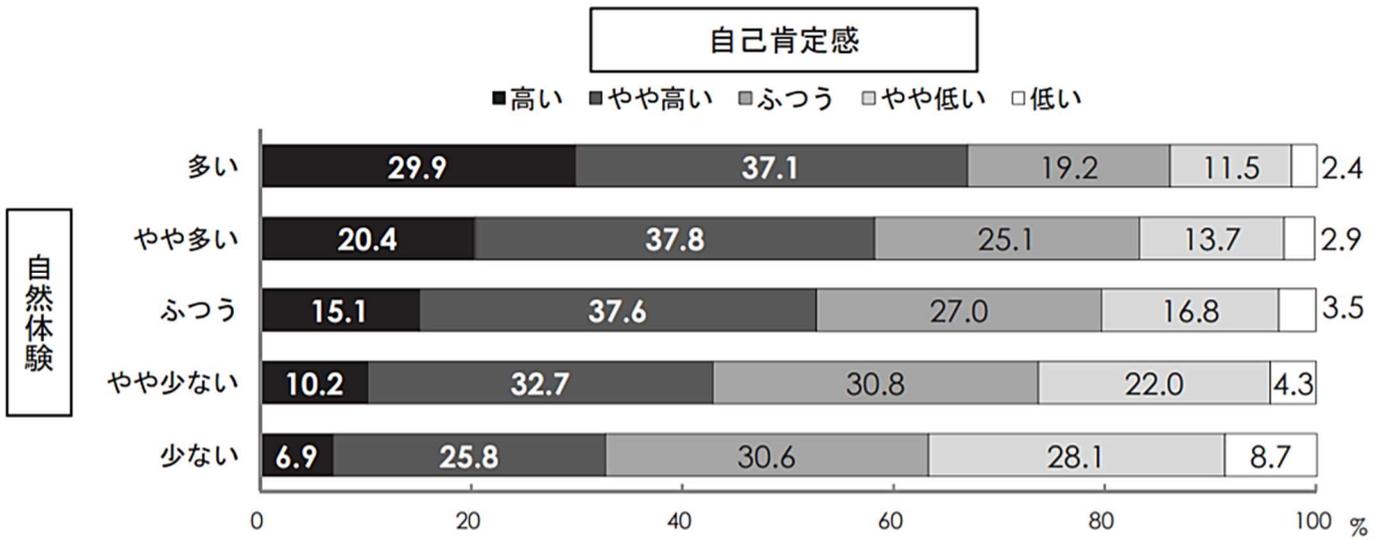


＜図 3＞ 自然体験と自律性の関係
（小 4～小 6、中 2、高 2）

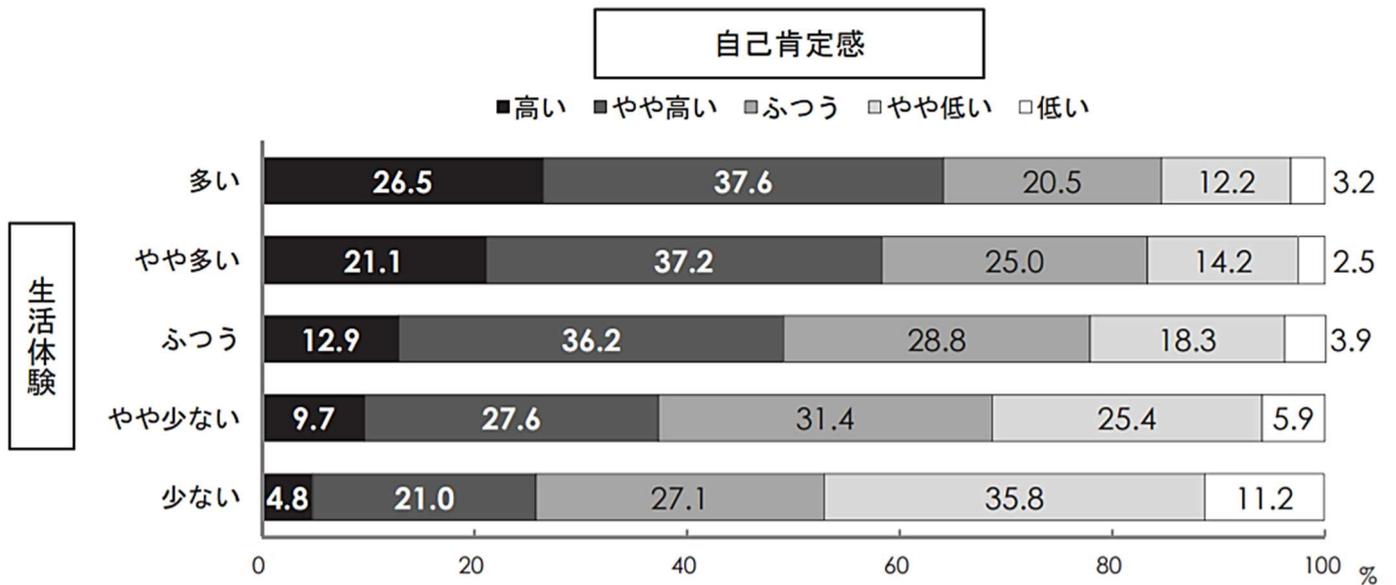


＜図 4＞ 生活体験と自律性の関係
（小 4～小 6、中 2、高 2）

注) 自律性は、「人の話をきちんと聞く」、「ルールを守って行動する」、「周りの人に迷惑をかけずに行動する」、「自分でできることは自分でする」の 4 項目の回答の合計点を 3 段階に分類している。

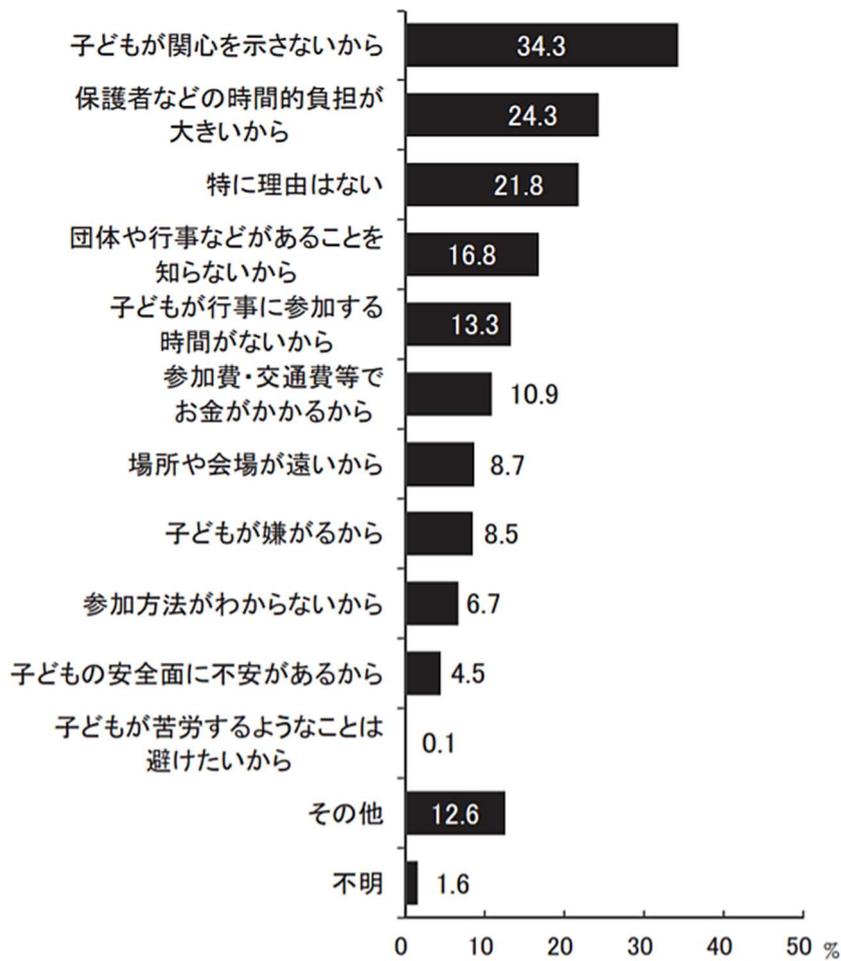


<図 5> 自然体験と自己肯定感の関係 (小4～小6、中2、高2)

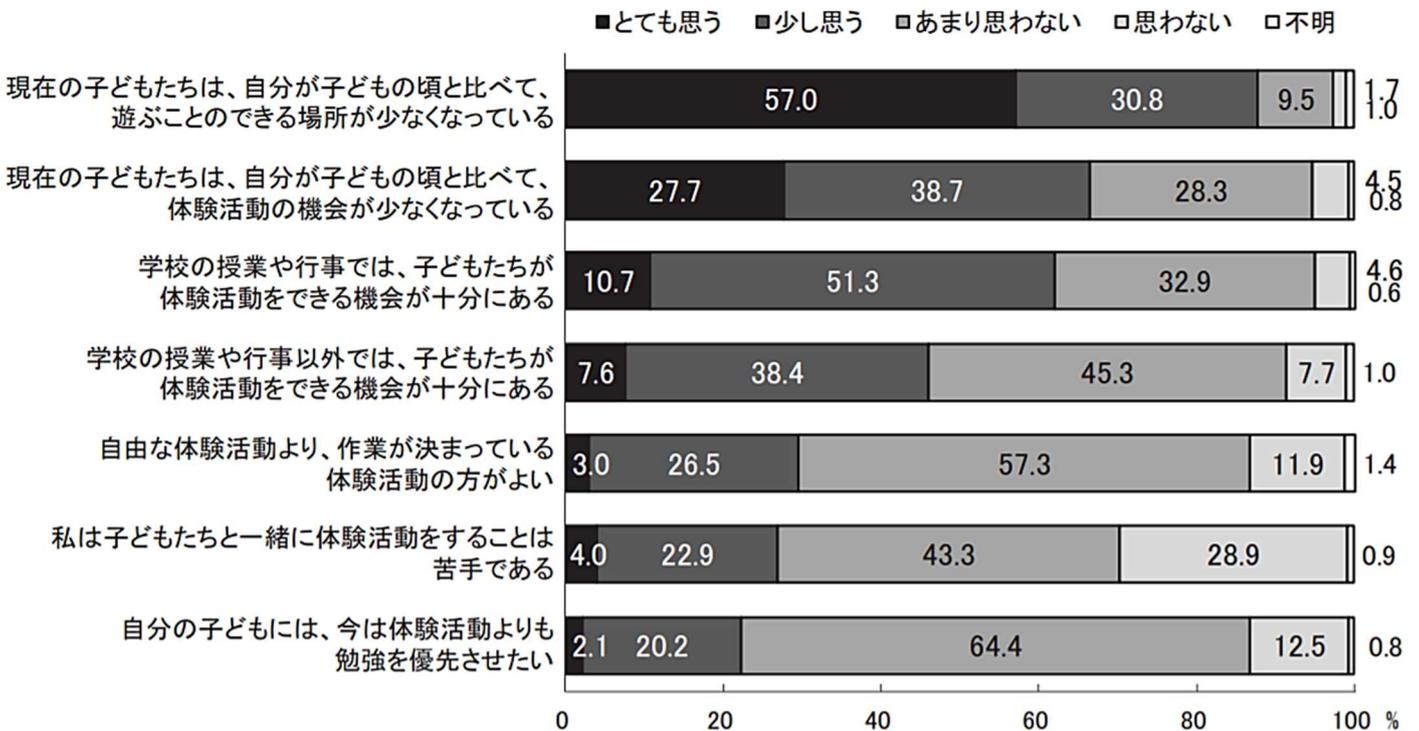


<図 6> 生活体験と自己肯定感の関係 (小4～小6、中2、高2)

注) 自己肯定感は「学校の友だちが多い方だ」、「自分には、自分らしさがある」、「今の自分が好きだ」、「体力には自信がある」、「学校以外の友だちが多い方だ」、「勉強は得意な方だ」の6項目の平均点を5段階に分類している。



＜図 7＞ 公的機関等が行う行事に参加しなかった理由（小 1～小 6 の保護者）



＜図 8＞ 体験活動に関する保護者の意識

出典：青少年の体験活動等に関する意識調査（令和元年度調査）報告書、
国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター、令和 3 年 3 月